

宮崎県森林審議会長期計画部会（第3回）

日時：令和7年11月12日（水）

午後13時30分から16時まで

場所：県庁防災庁舎5階 防51号

次 第

1 開 会

2 環境森林部長あいさつ

3 部会長あいさつ

4 議 事

（1）第八次宮崎県森林・林業長期計画（改定計画）の原案について

5 閉 会

宮 崎 県 森 林 審 議 会 委 員

(令和6年3月1日～令和8年2月28日)

氏 名	所 属 等	部会	備 考
緒方 由紀子 <small>お がた ゆ き こ</small>	宮崎県環境保全アドバイザー		
尾前 慶子 <small>お まえ けいこ</small>	耳川広域森林組合椎葉支所		
川口 さおり <small>かわぐち</small>	建築士	森林保全	
黒田 真峰 <small>くろだ ま ほ</small>	ヤマサンツリーファーム	長期計画	
児玉 寛太郎 <small>こ だま かんた ろう</small>	公募委員	長期計画	
佐藤 貢 <small>さ とう みつぐ</small>	宮崎県町村会会長	長期計画	
清水 収 <small>し みず おさむ</small>	宮崎大学農学部教授	森林保全	部会長
外山 正志 <small>と やま まさし</small>	宮崎県木材協同組合連合会会長	長期計画	
長友 幹雄 <small>ながとも みきお</small>	宮崎県森林組合連合会代表理事会長	森林保全 長期計画	
藤掛 一郎 <small>ふじかけ いちろう</small>	宮崎大学農学部教授	森林保全 長期計画	会長
星原 透 <small>ほしはら とおる</small>	公益社団法人宮崎県森林林業協会会長		
前田 正一 <small>まえだ しょういち</small>	宮崎県造林素材生産事業協同組合理事長	長期計画	
光田 靖 <small>みつだ やすし</small>	宮崎大学農学部教授	長期計画	部会長
山口 輝文 <small>やまぐち てるふみ</small>	宮崎森林管理署長	森林保全	
横山 純子 <small>よこやま じゅんこ</small>	NPO 法人子どもの森 理事		

※五十音順

森 林 保 全 部 会

氏 名	所 属 等	備 考
<small>かわぐち</small> 川口 さおり	建築士	
<small>しみず おさむ</small> 清水 収	宮崎大学農学部教授	部会長
<small>ながとも みきお</small> 長友 幹雄	宮崎県森林組合連合会代表理事会長	
<small>ふじかけ いちろう</small> 藤掛 一郎	宮崎大学農学部教授	
<small>やまぐち てるふみ</small> 山口 輝文	宮崎森林管理署長	

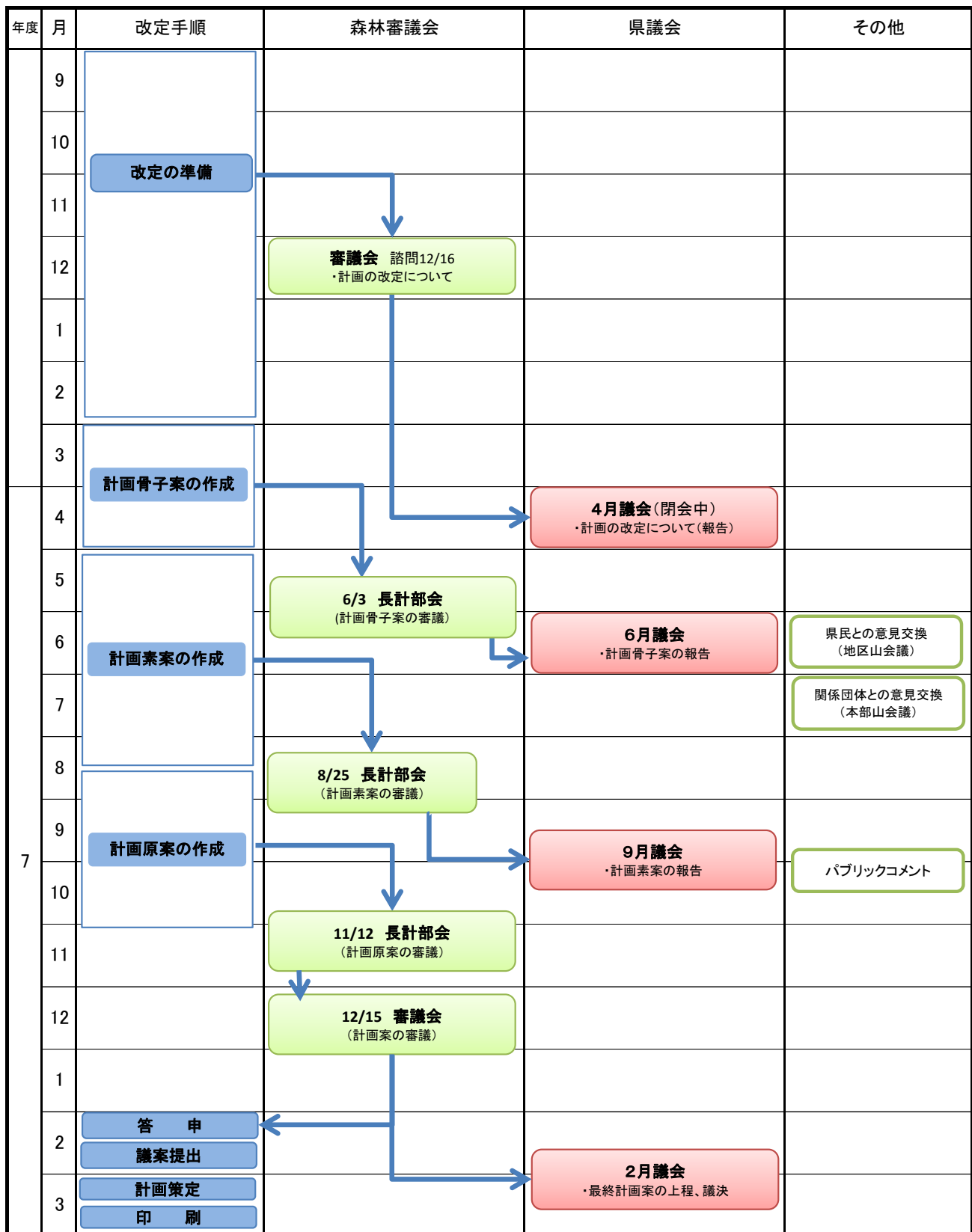
※五十音順

長 期 計 画 部 会

氏 名	所 属 等	備 考
<small>くろだ まほ</small> 黒田 真峰	ヤマサンツリーファーム	
<small>こだま かんた ろう</small> 児玉 寛太郎	公募委員	
<small>さとう みつぐ</small> 佐藤 貢	宮崎県町村会会長	
<small>とやま まさし</small> 外山 正志	宮崎県木材協同組合連合会会長	
<small>ながとも みきお</small> 長友 幹雄	宮崎県森林組合連合会代表理事会長	
<small>ふじかけ いちろう</small> 藤掛 一郎	宮崎大学農学部教授	
<small>まえだ しょういち</small> 前田 正一	宮崎県造林素材生産事業協同組合理事長	
<small>みつだ やすし</small> 光田 靖	宮崎大学農学部教授	部会長

※五十音順

第八次宮崎県森林・林業長期計画改定スケジュール



第1章 計画改定にあたって

- 第1節 計画改定の趣旨 情勢の変化に的確に対応するため改定
- 第2節 計画の位置づけ 本県林政の基本方針
- 第3節 計画期間 令和8年度から12年度までの5か年計画
- 第4節 改定方法 森林審議会への諮問、パブリックコメント等による県民からの意見聴取

第2章 森林・林業・木材産業を取り巻く諸情勢

第1節 森林・林業・木材産業を取り巻く情勢の変化

人口減少・高齢化の進行、
生物多様性の重要性と森林・林業の役割、
グリーン成長プロジェクトによる再生林の推進、
について追記

第2節 本県の森林・林業・木材産業の現状と課題

森林の経営管理体制の強化、
木材需要の拡大、
多様な担い手の確保・育成、等について記載

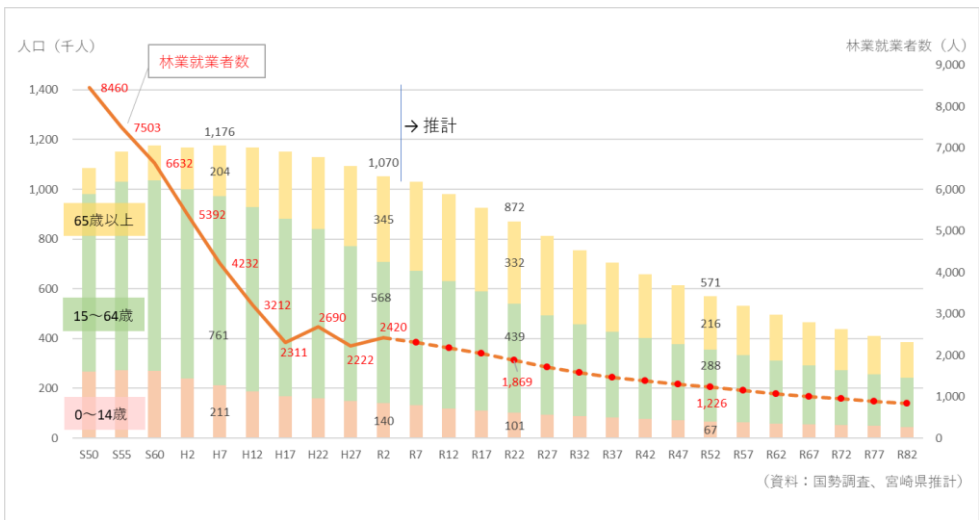
「人口減少がもたらす林業・木材産業への影響」を追記

第3節 森林・林業・木材産業に期待される役割

林産物の供給、
生活環境や生物多様性の保全、
地域経済の活性化、
脱炭素社会の実現への貢献、等について記載

○人口減少がもたらす林業・木材産業への影響

※急速に進む人口減少の影響と、生産性の向上の重要性を記載



第1節 目指す姿と基本目標

- 森林の持つ多面的機能の持続的発揮を目指す
「宮崎県水と緑の森林づくり条例（平成18年施行）」
- 再造林による循環型林業の実現を目指す
「宮崎県再造林推進条例（令和6年施行）」

2つの理念に基づき、森林の持つ水源かん養等の公益的機能や木材等の生産機能のそれぞれがより高度に、かつ持続的に発揮される森林づくりについてイメージを示す（下図）

【生産林】：将来にわたって持続可能な林業経営を目指す森林
【環境林】：森林の持つ公益的機能の発揮を重視する森林

木材需要の動向や将来の資源確保を考慮した5年後の目標

- 素材生産量：190万m³
- 再造林面積：2,570ha（再造林率90%）

【基本目標】

持続可能なみやぎの森林・林業・木材産業の確立

①多面的機能を持続的に発揮する豊かな森林づくり
②持続可能な林業・木材産業づくり
③森林・林業・木材産業を担う地域・人づくり



「長期的に目指す森林の姿」のイメージ

第4章 基本計画

第1節 多面的機能を持続的に発揮する豊かな森林づくり

1 適切な森林管理の推進

森林経営管理制度の改正、生物多様性の保全への配慮等を追加

2 資源循環型の森林づくりの推進

地域再造林推進ネットワークを核とした再造林、森林由来J-クレジットの活用等を追加

3 安全・安心な森林づくりの推進

濁水・流木の抑制対策、徹底した伐倒駆除と樹種転換も含めた松くい虫被害跡地の保全等を追加

主な指標	現況値	目標値
	令和6年度	令和12年度
森林経営計画作成率（％）	45.5	53.0
再造林面積（ha）	2,079	2,200 → 2,570
再造林率（％）	※R5年度 78	80 → 90
コンテナ苗木生産量（万本）	296	300 → 372
保安林指定率（％）	32.0	33.5

第2節 持続可能な林業・木材産業づくり

1 効率的な林業経営と原木供給体制の確立

経営意欲のある者への林地の集積・施業の集約、再造林及び環境に配慮して伐採を行う林業経営体の育成等を追加

2 木材産業の競争力強化

木材加工流通施設の省力化・効率化、付加価値の高い多様な製材品の供給等を追加

3 県産材の需要拡大の推進

民間非住宅建築物の木造化・木質化、家具などの非建築分野での木材利用拡大等を追加

4 特用林産の振興

5 研究・技術開発及び普及指導

主な指標	現況値	目標値
	令和6年度	令和12年度
素材生産量（千m³）	1,894	1,900
林業産出額（億円）	※R5年 295	292 → 295
製材品出荷量（千m³）	882	920
人工乾燥材生産量（千m³）	517	494 → 530
木材輸出額（県産材の製品出荷額）（百万円）	619	517 → 1,000

第3節 森林・林業・木材産業を担う地域・人づくり

- 1 山村地域の振興・活性化
- 2 林業・木材産業を支える担い手の確保・育成
アルバイト等の短期雇用労働者の活用、DX推進に必要なデジタル人材の育成強化等を追加
- 3 森林を育み、支える人づくり
生物多様性に配慮した森林づくり活動の支援、みやざき木育マイスターの活動支援等を追加

主な指標	現況値	目標値
	令和6年度	令和12年度
みやざき林業大学校研修受講者累計数（人）	2,965	4,863 → 5,419
森林ボランティア参加団体数（団体）	193	250
木育活動参加者数（人）	2,925	5,000

第5章 重点プロジェクト ※「グリーン成長プロジェクト」の取組の継続性を確保

- 【重点1】 再造林の推進に向けた意識醸成と支援体制等の充実
- 【重点2】 再造林を支える担い手・経営体の確保
- 【重点3】 林業採算性の向上を図る新技術等の実装
- 【重点4】 循環型林業に不可欠な県産材需要の拡大

第6章 地域計画 ※地域再造林推進ネットワークの記載を追加

7地域（中部、南那珂、北諸県、西諸県、児湯、東臼杵、西臼杵）の計画を記載

第7章 計画の実現に向けて

関係者の役割分担、国有林や地域再造林推進ネットワークとの連携、計画の進行管理について記載